

表1 危険の重大度

危険の重大度	カテゴリ	定義	
		人	機械、システム
軽微	S 1	軽傷度、軽職業病よりも軽い障害 (不休)	機械の一部損傷
軽度	S 2	軽傷害、軽職業病 (後遺症無、休業1ヶ月未満)	機械の全損
重度	S 3	重傷害、重職業病 (後遺症又は休業1カ月以上)	軽度な二次災害を起こす (例：プラント停止)
致命	S 4	死亡	重大な二次災害を起こす (社会的影響度大)

表2 危険の発生頻度

発生頻度	発生確率 (h)	レベル	定義
可能性無	10^{-9} 以下	K 1	発生を経験することがないと推定できる程度に可能性が低い。
僅か	10^{-7} ～ 10^{-9}	K 2	可能性は低いが製品の寿命内に発生するかもしれない。
まれ	10^{-6} ～ 10^{-7}	K 3	製品の寿命内に発生することがある。 (交通事故程度)
可能性有	10^{-5} ～ 10^{-6}	K 4	製品の寿命内に数回発生する可能性がある。
頻発	10^{-5} 以上	K 5	頻繁に発生しやすい。(クレーム程度)

表3 危険評価マトリックス

危険の重大度 発生頻度	S 1	S 2	S 3	S 4
K 1	1	4	6	9
K 2	2	7	11	13
K 3	3	10	15	17